

農業委員会だより



よさの

第50号 R6.12発行

編集発行

与謝野町農業委員会

広報編集委員会

〒629-2498

与謝郡与謝野町字加悦433番地
(加悦庁舎2階)

TEL:0772-43-9023(直通)



大江山連邦の雪化粧



力強い餅つき

【目次】

与謝野町で栽培されるお米の美味しさ	2
農地パトロール	2
担い手認定農業者会議の視察研修	3
京都府農林水産業功労者表彰	3
「与謝・滝・金屋 命の里」秋の大感謝祭	3
農業委員の中立委員を知っていますか	4
編集後記	4

与謝野町で栽培されるお米の「美味しさ」

皆さんご存じのように与謝野町は東南に大江山連峰が位置し、町の中心に「野田川」が流れて阿蘇海に注ぎ込みます。そこには数多くの支流が流れこんでいます。土質は主に花崗岩で成り立ち、火山活動がおさまってから肥沃な堆積土壌として田畑における作物の生産基盤を形作っています。大江山には地底の奥深くの地層の裂け目を通して地上に現れた「蛇紋岩」の存在とその成分（鉄分やマグネシウム）がお米の美味しさと関係しているのかとの研究も続けられています。



(優良な農地が広がる加悦谷平野)

お米の美味しさはその年の気候によっても左右され、その品質、収量も一定ではありません。日夜の寒暖差も大きな要因とされています。お米の生産農家は「おいしさ」の特徴を見極めながら様々な研究に取り組んでいます。周辺を山に囲まれて獣害や害虫への対策が困難な中でも有機農業に挑戦されたり、堆肥などの有機物を使用した「京の豆っこ米」のようにおから、魚のあら、米ぬかを主原料としている有機質肥料「京の豆っこ」を投入してその効果を上げている取り組みも続けられています。



(黄金色の稲穂)

昭和40年代前半には「秋晴」「日本晴」「コシヒカリ」その後「キヌヒカリ」「どんとこい」などの品種が主食用として栽培されてきましたが、現在もその主流は「コシヒカリ」です。お米の成分の70%はでんぷんで残りはタンパク質、脂質、ビタミン、ミネラルと言われますが、お米の美味しさはそれらのバランスであると表現されています。お米の生産農家は暑さと生産資材等の高騰による厳しい経営環境の中にあっても消費者に「おいしいお米」を安心して供給し続けられるように日々の努力を積み重ねられています。

農地パトロール

11月21日と22日との2日間、農業委員会委員で町内全域の農地パトロールが開催されました。対象は令和5年度の農業員会総会で承認をされた農地で造成工事の進捗状況や耕作が適正になされているかどうかを確認されました。

二日目は悪天候での開催となりましたが、新委員からは活発な意見や指摘もなされました。適正に管理がされていない農地については農業委員会から注意喚起等を行うこととしています。

地域の環境保全のためにも、農地の適正な維持・管理をしていただきますようお願いとご協力をお願いします。

(農地パトロールの様子)



担い手認定農業者会議の視察研修

11月29日に認定農業者会議の参加者12名で福井県小浜市にある合同会社たごころ農園と株式会社永耕農産へ視察研修に訪れました。たごころ農園では多品目栽培（そば・大麦・ネギ等）から水稲のみの経営運営に変更した内容について、また、永耕農産では地域農業の発展と円滑な農地保全体制を維持していくため、2階建構造（営利部門と公益部門）の運営管理や地域住民とのふれあいや次世代へ繋げていくために実施しているアート田んぼの取組等について説明を受けました。とても有意義な研修となりました。



(熱心に質問をされる参加者)



(森垣 剛さん)



(山崎 俊彦さん 香葉子さん)

11月30日に京都府総合見本市会館で京都府農林水産業功労者表彰・若手農林業者表彰の授与式が開催され、森垣剛さん（金屋）が農林水産業功労者表彰、山崎俊彦さん・香葉子さん（岩屋）が若手農林漁業者表彰を受賞されました。森垣さんは水稲、えびいも、万願寺とうがらし、豆、野菜類の栽培等、大規模農家として機械化を進め、行動力やリーダーシップを発揮し農地の保全管理にもご尽力されていることが評価されました。山崎さんは夫婦で、水稲、季節野菜を中心に農業技術向上のために機械化で経営改善に取組まれ、耕作放棄地減少にも貢献をされており、これらの取組が評価されました。皆様の今後のご活躍が期待されます。

京都府農林水産業功労者表彰 若手農林業者表彰

「与謝・滝・金屋 命の里」秋の大感謝祭

11月10日に「与謝・滝・金屋 命の里」秋の大感謝祭が道の駅シルクのまちかやで開催されました。感謝祭は来賓の方々の千本搦きでスタートし、ステージでは宮津天橋高校吹奏楽部の発表や各種バンドによる余興やライブで盛り上がりました。



(千本搦き)



(ステージ発表)

初めて参加された農業委員さんは「町内でも多くのイベントが開催されているが賑わいぶりはトップクラスではないだろうか。多数の出店業者さんも活気に満ち溢れ、屋内の野菜も売り切れ状態。豪華商品が当たる抽選会もあり、これが人気の秘密ではないか。」と話され、また、多くの来場者の方も秋の楽しいひと時を過ごされていました。

農業委員の中立委員を知っていますか

私は8月の農業委員会の改選により農業委員（中立委員）に就任いたしました。友人や知人から「農業委員会だよりも載ってたの見たで。農業はしとんなるんか。」とよく聞かれます。その度に「農業はしてないで」と答えています。農業委員会には中立委員（利害関係を有しない者）を一人以上含めなければならないようで、実は私自身もそのことを知りませんでした。私と同じように「農業をしていないのに農業委員になれるの？」と思われる方は沢山おられるのではないのでしょうか。これからも中立委員の立場として総会での審議や広報活動等の役割を果たすために頑張っていこうと思っています。



（本城智鶴 委員）

農業者年金で老後の生活を安全サポート

農業者年金は3つの要件を満たせば、どなたでも加入することができます。

加入要件 ①20歳以上から65歳未満の方

（*60歳以上65歳未満で国民年金に任意加入している方）

②国民年金第1号被保険者（保険料免除者を除く）

③年間60日以上、農業に従事している方

保険料 月額2万円から6万7千円まで千円単位で選択することができます。

特徴 ★少子高齢化時代に強い積立方式の確定拠出型年金です。

★終身年金で、80歳前にお亡くなりになった場合には、死亡一時金を遺族の方にお支払いします。

★公的年金ならではの税制上のメリットがあります。

編集後記



近年、毎日のように山で鹿の声を聞きます。鹿の被害は、農作物全般に広がり、獣害防止フェンス維持の経費も必要になっていきます。また、地球温暖化の影響なのかエアコンが必要となった夏となりました。米の品薄状況は改善しているようですが、集荷価格は上がったままです。全国的には、年々農業者の平均年齢は高齢化し、小規模農家や耕作面積は減少しているようです。寒くなってきました。一年の収穫物に感謝しながら、私は「米袋が年々重く感じるようになった」とか「なぜ今年は柿の実がすくないのだろう」などを切実に感じている今日この頃です。

（谷原 光昭 委員）

広報編集委員

間苧谷義人 委員長

谷原 光昭 副委員長

成毛 義信 委員

本城 智鶴 委員

木村有紀子 委員

小田 則子 委員